



学校だより

おらほの名足

南三陸町立名足小学校

令和8年4月8日 No.1

南三陸町歌津字中山14番地



学校教育目標 「進んでかかわり、夢と志をもって、たくましく未来を切り拓く児童の育成」

めざす児童像 ○豊かに学ぶ子供 ○思いやりのある子供 ○心と体をきたえる子供

ホームページ：<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/natari-es/index.html>

入学・進級おめでとうございます

お子様の入学、そして進級おめでとうございます。いよいよ今日から令和8年度が始まりました。のびのびと自分を出せる安心な毎日の中で、子供たちが自ら学び、仲間と高め合えるよう、私たち職員も心一つに全力で支えて参ります。今年も保護者の皆様、地域の皆様の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



【始業式：校長式辞】

校庭の桜が優しい色に染まり、その向こうに見える名足の海も碧々と広がっています。名足小学校にも新しい春がやってきました。今日から、令和8年度が始まります。児童のみなさん、そして先生方がそろって、元気いっぱいこの日を迎えられることを、とてもうれしく思います。

さて、新しい1年の最初の日に、みなさんに二つの話をします。まず一つ目は、昨年度も紹介した、東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩についてです。

この詩には、こんな言葉がありましたね。
『よし、やるぞ！』と心のスイッチが入ると、頭も素晴らしいはたらきを始める
「心のスイッチ」が入ると、いつも見ている景色が違って見えたり、今まで気付かなかった音が聞こえたりと、できることがどんどん増えていきます。

そこで、今年度みなさんに大切にしてほしい「合言葉」があります。それは、「やってみよう」です。

「難しそうだな」「失敗したらどうしよう」... そんな気持ちが出てくるのは当たり前です。でも、「やってみよう！」と思った瞬間、みなさんの心の中のスイッチがカチッと入ります。そのはじめの一步が、みなさんの可能性をぐんと広げてくれるのです。

みなさんが「やってみよう」と一步を踏み出すとき、みなさんは決して一人ではありません。先生方はいつも、みなさんのスイッチが入る瞬間を楽しみにしています。迷ったときは一緒に考え、転んだときはそっと手をさしのべますから、安心して挑戦してくださいね。

二つ目は、挑戦する友達を大切にしてほしい、ということです。
「やってみよう」と思って挑戦しているとき、最初から全部うまくいくとは限りません。そんなときに、周りの人はどうすればいいのでしょうか。笑ったり、からかったりするのではなく、「大丈夫だよ」「一緒にやってみよう！」と声をかけられる、そんな人であってほしいと思います。

誰かの挑戦をみんなで応援できる学級は、失敗を恐れずにのびのびと学べる場所になります。先生方も、みなさん一人一人の「やってみよう」の瞬間をたくさん見付けて、みんなで拍手を送れるような、そんな温かい学校を一緒につくっていきます。

今日から始まる令和8年度。みなさん、ぜひ「やってみよう」の心をもって、いろいろなことに挑戦してください。そして、挑戦する仲間を大切に、みんなで笑顔の花を咲かせる名足小学校をつくっていきましょう。

今年一年、みなさんと一緒に歩いていけることを、先生方全員で楽しみにしています。

【披露式・始業式・入学式】

披露式では、歓迎の言葉を6年代表児童が、名足小学校の魅力や各行事などについて堂々と発表しました。始業式では、6年代表児童が、最高学年として今年度の目標を発表しました。また、真新しいランドセルを背負ったかわいらしい1年生4名が登校しました。在校生と共に臨んだ入学式では、小学生らしい立派な態度で最後まで参加することができました。今年も名足っ子の活躍を楽しみにしててください。